

公益社団法人日本プロゴルフ協会 平成29年度 事業報告書

自：平成29年1月1日～至：平成29年12月31日

【公益目的事業】

公1「ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興及びゴルフを通じた
社会貢献を行う事業」

1. ティーチングプロ資格認定事業

ティーチングプロ資格の認定のため、A級・B級の2階級で講習会を実施。B級講習会は、新規にティーチングプロ資格の取得を希望する者のためのB級（新規）講習会に加え、既存のC級会員に対するB級（移行）講習会の2種類を実施した。

A級講習会は59名（PGA53名、LPGA6名）が受講。PGAの受講者で講習会を修了した52名（内トーナメントプレーヤー1名）に対し、平成30年1月1日付けでティーチングプロA級資格を認定する。（本年度ジュニアセミナーは実施せず）

B級（移行）講習会は8名が受講。講習会を修了した8名（内トーナメントプレーヤー3名）に対し、平成30年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定する。

B級（新規）講習会は87名（PGA79名、LPGA8名）が受講。PGAの受講者でレポート・検定に合格し講習会を修了した71名に対し、入会セミナーを実施。入会セミナーの受講を経て、平成30年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定、入会登録となる。

平成30年度B級（新規）講習会受講者選定のための審査は207名【プレ実技から44名（PGA43名/LPGA1名）、実技審査から160名（PGA120名/LPGA40名）】が受験。選定審査（書類審査・プレ実技審査・実技審査・面接審査及び筆記試験）を通過した114名（PGA76名/LPGA38名）が合格。平成30年度B級（新規）講習会の受講資格を認めた。

2. トーナメントプレーヤー資格認定事業

トーナメントプレーヤー資格の認定のため、資格認定プロテストを実施。プレ予選2会場、1次プロテスト2会場、2次プロテスト3会場、最終プロテスト1会場の4段階で実施した。その結果、50名が合格、入会セミナーの受講を経て、平成30年1月1日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定、TCP資格取得者2名を除く48名が入会登録となる。

また、一般社団法人日本ゴルフツアー機構が管轄するジャパンゴルフツアー賞金ランキングシード権取得者、また顕著な実績を持つ選手（計2名）については、入会セミナーの受講により、平成30年1月1日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定、入会登録となる。

3. プロゴルファーの資質向上事業

(1) ティーチングプロ研修会

会員を対象として技術研鑽と資質向上を目的に、年間を通じて全国13会場にて研修会を実施し、1,359名が参加した。

(2) ティーチングプロアワード

優れた指導理論やレッスンの新たなアイデア、顕著な活動実績を持つプロゴルファーを表彰するPGAティーチングプロアワード（以下：TCPアワード）は、2016年12月に実施した1次選考会（17名参加）を通過した3名による最終選考を2017年3月に開催したゴルフフェアにて実施し、塩川隆幸会員が最優秀賞を受賞した。また、2018年11月30日～12月1日に実施した2018年度TCPアワードの1次選考会に

は15名が参加して、3名が通過し、2018年3月に開催されるゴルフフェアにおいて最終審査を実施する。

(3)PGAマネジメントプログラム

会員の資質向上を目的としたPGAマネジメントプログラム「プロスポーツティーチングセミナー」を公益社団法人日本プロスキー教師協会及び公益社団法人日本プロテニス協会と合同で実施し8名が参加した。

4. ゴルフの正しい普及のためのジュニア育成事業

(1)ジュニアゴルファー育成プロジェクト

地方自治体とタイアップし、自治体等が募集した主にゴルフ未経験の小学生に対して、ゴルフを経験させていくジュニアゴルファー育成プロジェクトは、ジュニアゴルフ教室として東条の森カントリークラブと太平洋クラブ益子PGAコースで実施し、210名のジュニアが参加した。また、かずさカントリークラブにて実施した市原市ジュニアゴルフ教室には108名が参加した。

(2)キッズゴルフ体験会

当法人が主催または公認する競技において、開催コースの近隣の小学校を通じて募集した主にゴルフ未経験のジュニアに対してゴルフを体験させるキッズゴルフ体験会は、シニアツアー5試合でイベントを実施し、延べ124名のジュニアが参加した。

(3)春休み親と子&シニアゴルフレッスン会(2017年3月実施事業)

春休み中の一定期間に、全国各地においてゴルフ練習場を利用して親子または祖父(祖母)と孫のペアでゴルフレッスン会を実施する春休み親と子&シニアゴルフレッスン会は、全国44会場で実施し、延べ1,064名が参加した。

(4)ジュニア育成地区活動への助成

地域におけるゴルフ普及と振興を目的に、地区ジュニア委員が企画、実施するジュニア育成活動に対して運営費を助成するジュニア育成地区活動においては、全国で42イベントが実施され、延べ2,315名が参加した。尚、助成金の総額は2,776,516円。

(5)ジュニアゴルフスクールへのプロゴルファー派遣

公益財団法人日本ゴルフ協会ならびに関連団体が全国各地で実施するジュニアスクールに対して、当法人所属のプロゴルファーを118会場、述べ469名派遣した。

(6)日本ジュニアゴルファー育成協議会への支援

子供たちへのゴルフの普及、啓発事業、指導者養成事業などを行い、社会活動の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的として、1999年にゴルフ関連10団体(公益財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人日本プロゴルフ協会、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフツアー機構、一般社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフ用品協会、公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会、全国高等学校ゴルフ連盟)によって創設された、NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)の活動に対して以下の支援を行った。

① JGCが主催または協力するゴルフ体験会、ゴルフレッスン会等のジュニアイベント

に対しPGA会員並びに事務職員を派遣した。

② 助成金として150万円を支出。

5. ゴルフ分野のスポーツ振興のための主催競技開催事業

(1) 日本プロゴルフ選手権大会及び日本プロゴルフ選手権大会予選会

第85回日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯

開催日：平成29年5月11日（木）～14（日）

場 所：かねひで喜瀬カントリークラブ（沖縄県）

勝 者：宮里優作

備 考：併せて予選会を全国7会場（1次予選6会場、最終予選1会場）にて実施

(2) 第56回日本プロゴルフシニア選手権大会 住友商事・サミットカップ

開催日：平成29年10月5日（木）～8日（日）

場 所：サミットゴルフクラブ（茨城県）

優勝者：盧建順

(3) 日本プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会 ゴルフパートナーカップ

開催日：平成29年6月24日（土）～25（日）

場 所：スカイウェイカントリークラブ（千葉県）

優勝者：ゴールドの部 海老原清治 グランドの部 福沢孝秋

備 考：予選会として関東・関西グランド・ゴールドシニア選手権大会を以下の通り実施

関東プロゴルフグランドシニア選手権大会

開催日：平成29年4月27日（木）～28日（金）

場 所：箱根湖畔ゴルフコース（神奈川県）

優勝者：初見充宜

関東プロゴルフゴールドシニア選手権大会

開催日：平成29年5月16日（火）～17日（水）

場 所：成田ゴルフ倶楽部（千葉県）

優勝者：海老原清治

関西プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会

開催日：平成29年4月25日（火）～26日（水）

場 所：ローモンドカントリー倶楽部（三重県）

優勝者：ゴールドの部 菊一利彦 グランドの部 高橋勝成

(4) 第19回日本プロゴルフ新人選手権大会 房総カントリーカップ

開催日：平成29年12月21日（木）～22日（金）

場 所：房総カントリークラブ房総ゴルフ場東コース（千葉県）

優勝者：阿久津未来也

(5) PGAティーチングプロ選手権大会及びティーチングプロ選手権予選会

第6回PGAティーチングプログランドシニア選手権大会

開催日：平成29年11月21日（火）～22日（水）

場 所：阿山カンツリー倶楽部（三重県）

優勝者：伊藤正己

第13回PGAティーチングプロシニア選手権大会

開催日：平成29年10月17日（火）～18日（水）

場 所：静ヒルズカントリークラブ（茨城県）

優勝者：小林浩二

第19回PGAティーチングプロ選手権大会

開催日：平成29年9月21日（木）～22日（金）

場 所：登別カントリー倶楽部（北海道）

優勝者：澤口清人

備 考：併せて予選会を3会場で実施。

(6) PGAジュニアゴルフ選手権

開催日：平成29年8月22（火）～23日（水）

場 所：太平洋クラブ益子PGAコース（栃木県）

優勝者：関西チーム

備 考：全国8地区から選抜された中学、高校生の男女8名、計16名でチームを組み、男女各8人中上位6人、計12人の合計ストロークで競う、男女合計の地区対抗団体戦。尚、男女各個人戦も実施した。

6. ゴルフを通じた社会貢献及びゴルフ普及事業

(1) PGAフィランソロピー地区事業

地域のゴルフ普及、振興または社会貢献（チャリティ）を目的としたゴルフイベントを全国17会場で実施し、延べ1,591名が参加した。各地区で実施したイベントの内容により助成金額を決定し、総額510万円の助成を行った。尚、本事業によるチャリティ金の総額は2,222,144円となった。

(2) 障害者ゴルフ大会

本大会は障害者の方にゴルフを楽しんでもらう場を提供すると共に、障害者ゴルファーの技術向上を目指し、身体障害者を対象としたゴルフ競技会を10月3日（火）に若洲ゴルフリンクス（東京都）にて実施し、120名が参加した。

(3) 国際交流事業

海外で行われるシニアの国際大会に選手を派遣すると共に、海外プロゴルフ協会（PGA）との情報交換ならびに親善を図った。

本年度は以下の競技に選手ならびに事務局員を派遣した。

- ・ 全米プロゴルフシニア選手権（5月25日～28日・米国）日本選手4名が出場
- ・ 全英シニアオープン（7月27日～30日・英国）日本選手2名が出場

(4) 広報事業

ゴルフ普及のための広報事業として、以下の事業を実施。

① 公式ホームページの開設

公式ホームページに当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

② 公式 F a c e b o o k

公式 F a c e b o o k は公式ホームページと連動して当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

③ P G A シニアツアー競技成績の報道機関への配信

共同通信社と提携し、共同通信社から競技成績を配信することにより、P G A シニアツアーの成績が新聞各紙に掲載されるよう図った。

④ ゴルフフェア

一般社団法人日本ゴルフ用品協会が主催し毎年3月に開催されたジャパンゴルフフェアに当法人の特設ブースを出展し、実施事業の紹介、ゴルフレッスン会などを実施。

⑤ 競技記録の管理

シニアツアー及び1999年以前のレギュラーツアーの記録を管理し、一般ならびに報道機関などからの問い合わせ等に対応を行った。

(5) 出版事業

正しいゴルフ普及のため、当法人が長年の経験と実績に基づいて作成したゴルフ指導書（P G A 基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本 みんなでゴルフ、ゴルフはじめてブック）の出版、販売を行った。

(6) ゴルフのルール及びマナーに関する研究調査事業

公益財団法人日本ゴルフ協会が主催する「合同ルール研究会」に、当法人の専門競技委員及び競技担当事務局員を派遣し、最新のルール裁定、ルールの変更点に対する解釈などについて学んだ。「合同ルール研究会」で得られた情報は、当法人が開催する研修会ならびにティーチングプロ講習会、入会セミナーなどで実施するルール講習において周知すると共に、その情報をもとに、当法人のローカルルール（当法人が関係するすべての競技に適用）を作成して会員及び競技に参加するアマチュア選手に配布し、正しいルールの普及に努めた。

(7) ゴルフアカデミー事業

ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興のため、P G A ゴルフアカデミー事業を実施し、ジュニアゴルファー及び一般ゴルファーへのゴルフ技術ならびに、ルール、マナーなどの指導を実施した。更に会員を対象とする自己研鑽のための競技会や講習会等を実施し、プロゴルファーの資質向上に努めた。

【収益事業】

収1 競技関係事業

1. シニアツアー事業

主催競技以外でP G A シニアツアー競技として開催を希望する競技（スポンサー競技）を公認し主管として管理を行った。また、1年間を通したツアー制度を実施し、公式賞金ランキングを作成。更に、シード資格（優先出場資格）を持たない選手に対して、出場優先順位を与えるためのシニアツアー予選会を実施した。

本年度、シニアツアー競技として実施された試合は以下の通り。

ノジマチャンピオンカップ 箱根シニアプロゴルフトーナメント

開催日：平成29年4月20日（木）～21日（金）

場 所：箱根カントリー倶楽部（神奈川県）

優勝者：真板潔

すまいーだカップシニアゴルフトーナメント

開催日：平成29年6月1日（木）～3日（土）

場 所：イーストウッドカントリークラブ（栃木県）

優勝者：プラヤド・マークセン

第18回スターツシニアゴルフトーナメント

開催日：平成29年6月9日（金）～11日（日）

場 所：スターツ笠間ゴルフ倶楽部（茨城県）

優勝者：プラヤド・マークセン

～シニアを元気に!!～ KYORAKU MORE SURPRISE CUP 2017

開催日：平成29年7月7日（金）～9日（日）

場 所：涼仙ゴルフ倶楽部（三重県）

優勝者：室田淳

マルハンカップ 太平洋クラブシニア

開催日：平成29年8月5日（土）～6日（日）

場 所：太平洋クラブ 六甲コース（兵庫県）

優勝者：秋葉真一

エリートグリップ シニアオープンゴルフ

開催日：平成29年8月9日（水）～10日（木）

場 所：鳴尾ゴルフ倶楽部（兵庫県）

優勝者：汪徳昌

ファンケルクラシック

開催日：平成29年8月18日（金）～20日（日）

場 所：裾野カンツリー倶楽部（静岡県）

優勝者：米山剛

広島シニアゴルフトーナメント

開催日：平成29年8月24日（木）～25日（金）

場 所：広島カンツリー倶楽部 西条コース（広島県）

優勝者：米山剛

コマツオープン2017

開催日：平成29年8月31日（木）～9月2日（土）

場 所：小松カントリークラブ（石川県）

優勝者：金鍾徳

第27回日本シニアオープンゴルフ選手権競技

開催日：平成29年9月14日（木）～17日（日）

場 所：ザ・クラシックゴルフ倶楽部キング・クイーンコース（福岡県）

優勝者：プラヤド・マークセン

アルファクラブCUP シニアオープン

開催日：平成29年9月23日（土）～24日（日）

場 所：矢板カントリークラブ（栃木県）

優勝者：室田淳

YUKO GROUP PRESENTS

第3回セヴンヒルズカップ KBCシニアオープン

開催日：平成29年9月30日（土）～10月1日（日）

場 所：福岡セヴンヒルズゴルフ倶楽部（佐賀県）

優勝者：加瀬秀樹

第5回 トラストグループカップ佐世保シニアオープンゴルフトーナメント

開催日：平成29年10月14日（土）～10月15日（日）

場 所：佐世保カントリー倶楽部（長崎県）

優勝者：高橋勝成

第2回福岡シニアオープンゴルフトーナメント

開催日：平成29年10月28日（土）～29日（日）

場 所：福岡カンツリー倶楽部 和白コース（福岡県）

優勝者：三好隆

富士フィルムシニアチャンピオンシップ

開催日：平成29年11月2日（木）～4日（土）

場 所：ザ・カントリークラブ・ジャパン（千葉県）

優勝者：プラヤド・マークセン

ISPS・HANDA CUP・フィランソロピーシニアトーナメント

開催日：平成29年11月16日（木）～18日（土）

場 所：越生ゴルフクラブ（埼玉県）

優勝者：柳沢伸祐

いわさき白露シニアゴルフトーナメント

開催日：平成29年11月24日（金）～26日（日）

場 所：いぶすきゴルフクラブ開闢コース（鹿児島県）

優勝者：寺西明

2. 各種競技事業

シニア後援競技、シニア特別協力競技、主管競技、後援競技、協力競技などの名義を貸与し、競技委員を派遣して競技の管理を行った。

本年度は以下の競技が実施された。

【シニア後援競技】

2017 仰徳台日友好杯（優勝 団体：日本チーム）

UNITEX 2017 プロアマトーナメント（優勝：清水洋一）

ヴィクトリアゴルフグランドマスターズ2017（優勝：渡辺司）

復興応援！！熊本・阿蘇シニアオープンゴルフトーナメント（優勝：秋葉真一）

アサヒ緑健カップ 第19回TVQシニアオープンゴルフ (優勝: 渡辺司)

【シニア特別協力競技】

金秀シニア メモリアルプロアマトーナメント

【グラウンド・ゴールド競技】

第8回ユニデングラウンドシニアチャンピオンシップ (優勝: 渡辺司)

【主管競技】

ネスレインビテーションショナル日本プロゴルフマッチプレー選手権レクサス杯

(優勝: 藤本佳則)

【後援競技】

第34回 岐阜オープンクラシック2017 (優勝: 谷口徹)

北陸オープンゴルフトーナメント2017 (優勝: 小田龍一)

【特別後援競技】

ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント (優勝: 横尾要)

3. 共同主催競技事業

一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)及び一般社団法人日本女子プロゴルフ協会(LPGA)との共同主催により、Hitachi 3Tours Championship2017を実施し、JGTOチームが優勝した。

収2 その他収益事業

1. 商標関係事業

「PGA」や「PGA TOUR」などの商標を管理し、企業やゴルフ場などに商標を貸与する。

本年度はジャパンPGAゴルフクラブ(千葉県)に対し「ジャパンPGA」の名称を継続して貸与すると共に、ネクサスマーケティング株式会社に対して、ゴルフ用品等の製作、販売のため商標の使用権を貸与した。

また、JCBカードと提携し会員となった方に対して、プロゴルファーとの交流を中心としたサービスを展開するファンクラブを組織し、ゴルフの普及を図った。

【その他事業】

他1 会員事業他

1. 会員のための競技はプロテスト選考会1会場、グラウンドシニア選考会1会場を実施した。

2. 会報誌「PGAレポート」は1月、5月、9月の3回発行し、新規入会者へのウェア等の配布、会員証の発行、会員名簿の発行、ルールブックの配布、慶弔費の支給、公認ゴルフスクールの認定など、会員に対するサービスを行った。

3. 日本プロゴルフ殿堂に関する事業

プロゴルフ界の発展に貢献したプロゴルファーを表彰することを目的として設立された一般財団法人日本プロゴルフ殿堂の活動支援を行った。

4. PGAチャンピオンシップサミット

日本プロゴルフ選手権大会の告知を兼ねて、協賛社、マスコミ、関係者などを招待した懇親会を2017年5月の沖縄県開催に合わせて2017年3月に実施した。

5. PGA創立60周年記念事業

当法人の創立60周年を記念し、当法人の事業に協力していただいている協賛社、トーナメント主催者、関連団体、学識者、マスコミなどを招待した記念パーティーを実施した。

【コンプライアンス関連】

平成26年4月に内閣府より受けた勧告を踏まえ、当法人としてコンプライアンスの徹底と暴力団排除の取り組みを引き続き実施し、平成28年5月に第4回目の報告書を提出した。

なお、平成26年から28年にかけて提出した4回の報告書に対して、平成28年7月25日に公益認定等委員会の事務局より、「委員会において報告書が承認されたので、当法人は通常の監督状態に戻った」との連絡をいただいた。

これにより、勧告という状況は終了したが、これで全てが終わりではなく、平成25年の不祥事を忘れることなく、「コンプライアンスに終わりはない」との認識のもと、今後も、これまでと同様のコンプライアンス体制を維持し、暴力団排除とコンプライアンスの徹底に勤めていくこととしている。

当法人が平成29年度に実施したコンプライアンスに関する主な施策は以下のとおり。

- ① 平成29年3月13日に全国15地区の地区コンプライアンス担当とコンプライアンス委員会との打合せ会を実施し、地区における暴力団排除ならびにコンプライアンス徹底のための取り組みの現状の報告と、暴力団排除ならびにコンプライアンスに関してPGAに要望する事項などなどに関する意見交換を行った。
- ② 平成28年12月に実施したセミナーにおいて、ティーチングプロならびにトーナメントプレーヤーの入会予定者に対して、当協会の参与（警察OB）より暴力団排除およびコンプライアンスに関する講義を実施した。
- ③ 平成26年5月から運用を開始したコンプライアンス相談・通報窓口「PGA119番」については、運用開始から45件の相談・通報があり、通報についてはコンプライアンス委員会で事実関係を調査の上対応を行った。

【経営戦略関連】

平成27年2月の社員総会において発表した提言書に基づいて、経営戦略委員会においてゴルフ市場再生活活性化に向けた具体的な施策を検討し、その一つとして平成28年5月よりオールインワンパッケージシステム「PGAゴルフデビュープログラム」のテストマーケティングを東西1ヶ所ずつの練習場で実施している。

また、全国の大学で行われているゴルフの授業を充実させることを目的として、当法人と大学体育連合（以下：大体連）、ゴルフ市場活性化委員会の3者によって平成28年に締結した連携協定に基づき、以下の取り組みを実施した。

- ① 大学ゴルフ授業用のカリキュラムと指導マニュアルの策定。
- ② 上記カリキュラムの指導方法について、大体連の研修会において講習を実施。
- ③ 大学でゴルフ授業を担当する先生に対して、大体連の研修会で実施した講習の短縮版の講習を実施。
- ④ 武蔵野美術大学においてティーチングプロによる特別授業を2回実施。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

以上